

## グループ分けのためのチップカードの使い方

チップカードとコードカードはたくさんの人のグループ分けに使えます。同じ数や違う数でグループを作ったり、同じ色や違う色でグループを作ったりすることで、さまざまな人数へのグループ分けができます。「\*」印が付いている分け方は、同じ人数へのグループ分けの方法の中でも、より理解しやすく、また、より多くのグループを作ることができるものです。

### (a) ペア (2 人組) を作る場合。

(1) 色と数が同じカードでペアを作る。

各色の 1 から 5 を「2 組」ずつ使い、20 ペア ( $4 \times 5 \times 2 = 40$  枚 : 40 人) まで作ることができる。

(2)\* 数が同じカードでペアを作る。

各色の 1 から 5 を「3 組」ずつ使い、30 ペア ( $4 \times 5 \times 3 = 60$  枚 : 60 人) まで作ることができる。「色違い」でペアを作るように指定することもできる。

(3)\* 色が同じカードでペアを作る。

各色 (数は問わない)「14 枚」ずつ使い、26 ペア ( $4 \times 14 = 52$  枚 : 52 人) まで作ることができる。「数違い」でペアを作るように指定することもできる。

(4)「数違い」や「色違い」でペアを作ることも可能である。

### (b) 3 人グループを作る場合。

(1)\* 色と数が同じカード (あるいはコードカード) で 3 人グループを作る。

各色の 1 から 5 を「3 組」ずつ使い、20 グループ ( $4 \times 5 \times 3 = 60$  枚 : 60 人) まで (コードカードを同じ色と数とみなして 3 枚を足せば 63 人まで) 作ることができる。

(2) 数が同じカードで 3 人組を作る。

各色の 1 から 5 を「3 組」ずつ使い、20 グループ ( $4 \times 5 \times 3 = 60$  枚 : 60 人) まで作ることができる。「色違い」を指定することもできる。

(3) 色が同じカードで 3 人組を作る。

各色「15 枚」ずつ使い、20 グループ ( $4 \times 15 = 60$  枚 : 60 人) まで作ることができる。「数違い」を指定することもできる。

(4)「数違い」や「色違い」で 3 人グループを作ることも可能である。

### (c) 4 人グループを作る場合。

(1) 色と数が同じカードは 3 枚しかないので 4 人グループを作るのは難しい。

(2)\* 数が同じカードで 4 人グループを作る。

各色の 1 から 5 を「3 組」ずつ使い、15 グループ ( $4 \times 5 \times 3 = 60$  枚 : 60 人) まで作ることができる。「色違い」を指定することもできる。つまり、1 つのグループに数が同じカードが 4 色そろふ。

(3) 色が同じカードで 4 人グループを作る。

各色 (数は問わない)「12 枚」ずつで、12 グループ ( $4 \times 12 = 48$  枚 : 48 人) まで作ることができる。「数違い」を指定することもできる。

(4)「数違い」や「色違い」で 4 人グループを作ることも可能である。

### (d) 5 人グループを作る場合。

(1) 色と数が同じカードは 3 枚しかないので 5 人グループを作るのは難しい。

(2) 数が同じカードで 5 人グループを作る。

1 から 5 (色は問わない) を「10 枚」ずつ使い、10 グループ ( $5 \times 10 = 50$  枚 : 50 人) まで作ることができる。色は 4 色なので、「色違い」で 5 人グループを作るのは難しい。

(3)\* 色が同じカードで 5 人グループを作る。

各色「15 枚」ずつ使い、12 グループ ( $4 \times 15 = 60$  枚 : 60 人) まで作ることができる。「数違い」を指定することもできる。つまり、1 つのグループに色が同じカードが 1 から 5 までそろふ。

(4)\* 1 から 5 のカードで 5 人グループを作る。

1 から 5 を「12 枚」ずつ使い、12 グループ ( $5 \times 12 = 60$  枚 : 60 人) まで作ることができる。

「同じ色」を指定することもできる。つまり、1 つのグループに 1 から 5 のカードが同じ色でそろふ。\*

### (e) 12 人グループを作る場合。

各数「12 枚」ずつ使い、5 グループまで作ることができる。

### (f) 15 人グループを作る場合。

各色「15 枚」ずつ使い、4 グループまで作ることができる。

(g) 20 人グループを作る場合。

4 色の 1～5 を「3 組」使い、3 グループまで作ることができる。

注：6 人、8 人、9 人、10 人、18 人、24 人、25 人、30 人などのグループも、(a) から (f) の方法で 2 人、3 人、4 人、5 人、12 人、15 人などのグループを作ってから、できたグループのいくつかをあわせることで作れます。